

2018 年度
第 16 回定期総会

議 案 書

議事次第

1. 開会宣言
2. 理事長挨拶
3. 議案審議
 - 第一号議案 2017 年度事業報告
 - 第二号議案 2018 年度事業計画
 - 第三号議案 「森ボラ協議会」に係る件
2017 年度事業報告
2018 年度事業計画
 - 第四号議案 理事改選の件
4. その他
5. 閉会の辞



森の守護神

NPO 北海道森林ボランティア協会
2018 年 5 月 10 日（木）15：30～16：30
かでの 27 10F 1010 会議室

第一号議案 2017 年度事業報告

2017 年度事業報告

(2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日)

15年目の活動にあたり事業の継続性を念頭に2017年度をスタートしました。

2013年に策定しました「澄川環境林基本計画」第3次5か年計画は、達成状況を総括したうえで第4次5か年計画を策定し、今後5年間の目標設定を行いました。その骨子は3月の会員例会で報告しました。

今年度もこの15年間の除間伐、植栽を中心とした実践活動を実施しました。この活動とともに森林保全の大切さを子供たちに伝える活動として、第二期親子森林教室を4月に開校し14組の家族・18名の子どもたちと7回の協働活動は無事終了する事が出来ました。又近隣の澄川南小学校との総合的な学習支援も4年目を迎え森の学習も軌道に乗って来ました。

北海道森林ボランティア協会として、森を育てる実践活動と次世代の子供たちが森に親しみをもって貰える教育活動の二本柱はバランスよく展開出来ています。

年間の活動を以下の通り報告します。現場での延べ活動機会は 130 機会、延べ参加人数は 1,834 名でした。内部企画は幹事会、総会、研修旅行で 31 機会、延べ参加人数は 448 名でした。

(3 月 31 日現在の会員数 73 名)

【札幌市都市環境林】

〔有明第二都市環境林〕機会 12 回 参加人数 129 名

森林・山村多面的機能発揮対策事業（以下多面对策事業）の助成により都市環境林にふさわしい健全な森林へ誘導して来ました。活動の内容は多面对策事業で報告します。

〔澄川都市環境林〕機会 86 回 参加人数 1,250 名

2013 年度に作成した『澄川環境林基本計画』をベースに 2017 年度は E 地区の活動の継続と B 地区の整備に着手しました。国土緑化推進機構緑の募金公募事業（ローソン緑の募金）に於いて第三期の“札幌市澄川都市環境林に於ける外来種ニセアカシア侵入地域の復興事業”は 6 月で終了し、7 月から第四期をスタートしました。E-1, 2 区のニセアカシアの整理伐後のギャップ地の地拵えは終わり植栽を予定しています。E-3, 4 区の整理伐と集材は概ね終わりギャップ地の地拵えを開始します。これからはニセアカの萌芽処理は継続して行きます。5 月にはローソン関係者 42 名による森林保全活動では針葉樹・広葉樹 200 本を A-1 区に植栽しました。

二期目の親子森林教室は四季を通しての体験学習が 6 回行われ、企画した内容に沿って進行出来ました。この事は協会員にとっても自信になった一年でした。

ホームタック環境活動支援は学童保育の子ども達や 6 幼稚園の園児たちが育てたカミネッコンを B-7 区に植栽しました。

また、澄川南小学校の総合的な学習の森林環境教育として澄川都市環境林での活動が年間のカリキュラムに組み込まれました。森で学ぶ体験活動は学年別にテーマを持ちながら進められています。

6 月には(株)かんぼ生命保険から昨年に引き続き 2 回目の寄付助成を受け、“学びの森の整備事業”としてこの森の保全、安心・安全の森づくりの為に大変役に立っています。10 月にはかんぼ生命札幌支社の皆さん 36 名が参加して創立 10 周年記念のエゾヤマザクラと針葉樹と広葉樹の苗 100 本を B-7 区に植栽しました。

新しい試みとして環境林の観察会を 3 回実施しました。四季を通して森をじっくり見ながらの散策

は一層の自然理解に繋がる事が期待されます。

多面対策事業の活動については第三号議案で報告します。

【国有林】

〔野幌森林公園〕機会1回 参加人数9名

石狩森林管理署との第二次5か年計画の協定は今年で5年目となります。ここには2005年に第9列に広葉樹を、その他の列は2006年に広葉樹及び針葉樹を植栽しました。標準列(第9、10列)の生長調査ではハルニレ、ヤチダモ、ケヤマハンノキは確認率60%、平均樹高4.0m以上と生長が顕著ですが、ミズナラ、カツラ、トドマツは生存率が30%を下回っています。これは地形が平坦で水はけが悪い土壌で、地下水位が高いのが原因と思われます。しかし、ヤチダモなどの自生も多くみられ、植栽木と判別がつかなくなっていることから、下草刈りは必要でなくなりました。

〔支笏湖復興単独事業地〕機会1回 参加人数17名

支笏湖復興の森(5218林班、1.12ha)の復興事業は国有林のため多面対策事業から外されました。7月に行った生長調査では、2007年秋に植栽したトドマツは生存率87.8%、平均樹高1.99m、最高樹高4.0mと順調に生長していることを確認しました。

自然発生列ではシラカンバ、ケヤマハンノキが優占していますが、少しずつ自然淘汰されてha当たり2,000本程度と安定してきたと思われます。また、ここでの特徴は50年ほど前に植栽され、近くに親木があるヨーロッパアカマツが自生していることで、今後の変遷が注目されます。

自然放置列では、シラカンバ、ヤナギ、ケヤマハンノキの先駆樹種が優占していますがha当たり1,400本と本数は安定し、樹高も食害の影響の見られるヤナギなどを除いて順調に伸びています。

〔支笏湖復興7-11の森〕機会1回 参加人数17名

セブンイレブンの森(5280林班、1.25ha)は2年ぶりの訪問となりました。2006年に植栽して11年目となり森として成立してきた事が感じられます。

〔支笏湖CGC水明郷の森〕機会5回 参加人数72名

水明郷の森(5465林班、17.82ha)は2016年に新たにスタートした北海道CGCみどりところの基金の「水明郷の森一植栽後の育林管理事業一」は2年目となりました。

生育の遅れている広葉樹列の10区は手刈りを中心に下草刈りを行いミズナラ、ハルニレ、イタヤカエデ、ヤチダモの生長を期待しています。特に枯損のひどいNo.8地区にアカエゾマツ39本、広葉樹50本を補植しました。6月、7月、8月に5回の下草刈りを行いました。トドマツ列16区は下草刈りとムレ防止の為に両サイドのササ刈り及びウラジロイチゴなどの蔓類の処理を刈払機で行いました。トドマツの生育状況は順調であり、下草刈りは状況を見て判断して行きたいと考えています。オッパイ山の人力地区(No.3・4)は一部ササの繁茂を確認しましたが、自然の力に任せる事にして手を入れませんでした。

〔支笏湖CGC烏柵舞の森〕機会11回 参加人数176名

2012年度からスタートした烏柵舞の森(5334林班、22.72ha)は5月にチャランケチャシの丘に植栽したアカエゾマツは成長し混んできたので13本を間引き移植しました。6月、8月、9月は5回の下草刈りを実施し、アカエゾマツ、広葉樹とも順調に生長しています。特に2012、13年の植栽列の下草刈りは状況を見て継続の可否を判断します。昨年度で植栽活動は終了しましたが、施肥試験は2年

目の作業として追肥と生長調査を行いました。植栽時に施肥した25本のトドマツ中8本の枯れを確認しましたが、何とか活着したものは2年目に効果が表れて来ました。

5月にはオイスカ・ユネスコの育樹祭に向けてシラカンバ間引施業の準備に着手しました。試験区を設けて間引き試験を行い、そのデータを基にNo.6区の自然発生列7列で育樹祭の準備が出来ました。10月の本番では85名が参加してシラカンバの間引き作業に汗をかきかき楽しんで貰いました。今後5年間継続して行きますが、間引きの度合いの違いによるミズナラなど残した木の生長観察が楽しみです。

〔支笏湖復興コンサ百年の森〕機会4回 参加人数56名

コンサ百年の森(5460林班、11.63ha)も多面対策事業から外されました。7月、9月4回の下草刈りと蔓切り、除伐及び生長調査を行いました。標準列による生長調査では、2008年から2010年に植栽されたトドマツは生存率91.6%、平均樹高1.46mと順調に生育しています。しかし、同時期に植栽されたハルニレ、ヤチダモなどの広葉樹はシカ、ウサギ、ネズミなどによる食害の影響が大きく、生存率19.0%と衰退の傾向が顕著になってきました。

2012年に播種したクリ、オニグルミ、ミズナラ400本は養生の為ポット苗にしました。

〔支笏湖復興道新ぶんぶんの森〕機会2回 参加人数34名

北海道新聞社ぶんぶんの森(1355林班、7.09ha)については、下草刈り等の育林管理を2年間延長し今年が2年目の最終年です。7月に下草刈りを2回行いました。周囲のカラマツの母樹からの種による稚樹が繁茂し植栽したトドマツを凌駕しそうです。トドマツとカラマツの共生が出来る為の施業に付いて胆振東部森林管理署、北海道新聞社と協会とで検討した結果、これから3年間は実生のカラマツには手を入れず自然の生長に任せ観察して行く事になりました。

【教育支援・その他支援】

〔親子森林教室・森しり隊活動〕機会7回 参加人数115名

2年目を迎えた親子森林教室“森しり隊”は、森しり隊員18名(14家族)の参加を得て4月に開校式(参加森しり隊17名)を行いました。4月(17名)、6月(12名)、7月(15名)、10月(17名)、2月(11名)、3月(14名)の6回はカリキュラムに沿って澄川環境林で自然体験学習を行いました。保護者の参加は延べ57名でした。昨年の経験を踏まえて検討会、反省会そして現場でのシミュレーションと準備をしながら進めて来ました。継続隊員と新規隊員の協働活動はバランス良くすすみました。この森しり隊は文科省系の子どもゆめ基金の助成事業です。

〔幌南の森〕機会2回 参加人数21名

幌南小学校が国有林藻岩山南斜面で行っている「幌南の森」野外学習では7月には子どもたちが安心して学習出来る様に山道の草刈、危険木の処理を行いました。

10月に4年生88名が散策し、当協会が単独で支援活動を行いました。特に2007年からこの森に関わって来た先輩たちの活動報告は興味深い情報として聞いて呉れました。

〔ホームマック支援幼稚園の植栽活動〕機会6回 参加人数32名

ホームマックのCSR活動を支援して、澄川都市環境林で学童保育サンサンキッズ(38名)、菊水いちい(16名)、桜台いちい(32名)、東橋いちい(35名)、光の泉(55名)、第二大麻(51名)、の園児達は自分たちで育てたカミネッコン414鉢を今年新たに地拵えしたB-7区に植栽しました。6月、7

月の準備を含めて9回で協会員55名が支援しました。又葉っぱの話、ドングリの話や蝶々の話は園児達に好評でした。

〔澄川南小学校〕機会9回 参加人数58名

澄川都市環境林での自然体験学習は、学校の総合的な学習に2014年から組み込まれ年間計画に沿って活動支援が行われました。2年生(71名)は紅桜公園で自然体験学習を行い冬芽の勉強をしました。3年生(51名)は6月の林内観察に始まり、マイツリー選定と樹名板を設置などで4回森で学習しました。4年生(57名)は4月に昨年自分たちで選んだマイツリーの生長観察とシイタケの植菌体験し、2月にはスノーシューを履いて林内散策と化粧炭づくり体験をしました。5年生(57名)のバーニングペンを使ったネームプレート作りは、思い出に残る工作授業と報告がありました。机を離れた授業は9回、参加した生徒は498名でした。

今年度もトムソーヤスクール企画コンテストの助成を受け、子ども達の野外学習に使わせて頂きました。

1 森林保護・育成活動（多面対策事業を含む）

上段計画
下段実績

活動地名	面積 (ha)	実施内容	作業内容	回数	延人数	摘要
都市環境林 有明第二 (札幌市 30 林班)	14.00	ササ地還林植栽	ササ刈り 地掻並びに播種 山引き苗の植栽	13 12	130 129	
都市環境林 澄川 (札幌市 56 林班)	65.14	澄川環境林基本 計画に基づき巨 木の森を目指す	除間伐、ホダ木キ ノコ栽培、ホタル 生息環境保全	80 86	1,200 1,250	活動拠点 基地多面 対策事業
国有林 野幌森林公園 (42 林班か小班)	1.10	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 生育調査	1 1	10 9	森林監視
国有林支笏湖 復興の森 (5218 林班)	1.12	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 生育調査	1 1	15 17	復興対策
国有林支笏湖 7-11 の森 (5280 林班)	1.25	台風被害地復興 針葉樹育林管理	下草刈り 生育調査	1 1	15 17	森林監視
国有林支笏湖 CGC 水明郷の森 (5456 林班)	17.82	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 育林管理	5 5	75 72	育林調査 継続
国有林支笏湖 CGC 烏柵舞の森 (5334 林班)	22.72	台風被害地復興 針広混交林植栽、 育林管理	植栽・下草刈り・ 人力地拵え地区 の整備	9 11	135 176	植栽作業 継続
国有林支笏湖 コンサ百年の森 (5460 林班)	11.63	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 生育調査	4 4	60 56	復興対策
国有林支笏湖 ぶんぶんの森 (1355 林班)	7.09	台風被害地復興 針葉樹育林管理	下草刈り	1 2	10 34	育林管理 継続
その他	エルプラザ、幌南の森(2)、紅桜公園、 杉本宅、開拓の村、リンゴ園			5 7	40 74	
計（含む重複活動：水明郷の森、7-11 の森、復興の森）				122 130	1,690 1,834	

2 教育支援・その他

上段計画
下段実績

場 所		回数	延参加数	概 要
幌南小学校	藻岩山幌南の森	4 2	60 21	自然体験、樹名板
道民森づくり フェスタ 2017	野幌森林公園 開拓の村	1 1	10 8	ワークショップ 化粧炭作り
ホームック幼稚園支援	澄川の活動と重複	5 6	50 32	カミネッコン植栽
澄川南小学校	澄川の活動と重複 校内学習 紅桜公園	8 9	120 58	マイツリー選定 化粧炭・カンジキ作り
親子森林教室	L-プラザ 澄川の活動と重複、	7 7	100 115	14 家族・隊員 18 名
計（参加人数は重複）		25 25	340 234	

3 内部企画

1. 自主企画		
日程	企画名	人数
5月	理事会・総会（5月10日）	28
8月	納涼会（8月4日）	8
9月	屈足の森（9月3・4日）	10
10月	研修旅行 白神山地（10月9～13日）	17
11月	第二回理事会（11月7日）	7
12月	忘年会（12月7・8日）	21
毎月	幹事会等（毎月+臨時）	153
計		244

2. 冬期セミナー		
日程	企画名	人数
12/13	酒井, 大窪会員：安全講習 習座学 山口岳広氏：樹木の病気 の話+腐朽病害の話	23
1/18	樺棒会員：各活動地の生 長調査報告 藤原勉氏：活動現場にお ける安全講習	18
2/15	大窪会員：第3期親子森 林教室 守屋開氏：生き物と自然 を伝える	17
3/14	市山会員：澄川基本計画 木村方一氏：北海道哺乳 動物化石の歴史	21
計	参加機会・4回	79

第二号議案 2018 年度事業計画

2018 年度事業計画

(2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)

今まで 15 年間の活動結果を踏まえながら森林の保全と次世代に対する啓発活動とホタル保全など生物多様性に貢献出来るよう以下の計画を実施して行きます。

【札幌市都市環境林】

〔有明第二都市環境林〕

計画の内容は多面対策事業で報告します。

〔澄川都市環境林〕

2017 年度末に作成した『澄川環境林基本計画』第 4 期 5 か年をベースに 2017 年度に引き続き、育林活動を継続します。また、E-3, 4 区生じたギャップ地は地拵えを行い郷土樹種の植栽を進めます。E-5, 7 区と B 地区の整理伐に入ります。親子森林教室、澄川南小学校の教育支援を積極的に行います。いろいろな生き物が棲みそれを子供たちと観察できる安全な森づくりに努めて行きます。

【国有林】

〔野幌森林公園〕

石狩森林管理署と新たに第三次 5 か年計画の協定が結ばれました。これまでの生育状況は順調であり、下草刈りの必要性も少なくなってきましたが、今後の生育状態を見守りたいとの会員の要望もありますので、年 1 回の調査・確認作業を行います。

〔支笏湖復興単独事業地〕

単独事業として実施します。2007 年に植栽して 11 年目となりトドマツの樹高が周囲の草丈を越えてきたことから、状況を見ながら植栽列の下草刈りを判断して行きます。活動地への作業道の草刈りと生長調査は継続します。

〔支笏湖復興 7-11 の森〕

支笏湖 5280 林班は 2006 年に植栽したトドマツは 12 年目となり 5m を越えました。復興の森委員会と相談しながら徐伐、枝打ち施業を検討中です。

〔支笏湖 CGC 水明郷の森〕

水明郷の森（5465 林班）17.82ha は北海道 CGC みどりところの基金の“水明郷の森—植栽後の育林管理事業—”は 3 年目に入ります。植栽列、作業道の下草刈りは 6 月、8 月、9 月で 6 回を計画しています。生長の遅れている広葉樹列には補植を含めた育林管理を継続して行きます。

〔支笏湖 CGC 烏柵舞の森〕

2012年度からスタートした烏柵舞の森(5334林班)22.72haでは6月と8月の下草刈りを4回行います。人力地拵地区の整備を継続して行ないます。9月には北海道CGC社長会の植樹祭が開催されます。又、10月にはオイスカ・ユネスコの育樹祭としてNo.7地区の自然発生列でシラカンバの間引き作業を行います。

〔支笏湖復興コンサ百年の森〕

コンサ百年の森(5460林班)11.63haは、2008年の植栽から始まり12年目を迎えます。下草刈りは2008年、2009年植栽のトドマツ列は周囲の草丈を越えてきたと判断し、今後の下草刈りを止めて除伐、枝払い及び側面の笹刈りを主な作業とします。

〔支笏湖復興道新ぶんぶんの森〕

北海道新聞ぶんぶんの森(1355林班)7.09haにおいて新たに育林管理の協定を3年間延長し、植栽したトドマツと実生したカラマツとの共生を保ちながら7月に2回下草刈りを行います。

【教育支援・その他支援】

〔親子森林教室・森しり隊活動〕

親子森林教室は、3年目となり2018年4月から6組9名(継続1名、新規8名)の子供たちと保護者の参加が決まりました。4月1日のエルプラザでの開校式のあと、4月下旬から来年3月までの間6回に亘って澄川都市環境林で森林教室を実施していきます。1年間を通して楽しい活動になるようスタッフ一同張り切っています。

〔幌南の森〕

幌南小学校4年生の藻岩山での自然体験学習は10月に北海道林業技師会と協働で支援して行きます。事前に作業道周辺の安全確認作業を行います。

〔幼稚園の植栽活動〕

ホームマックのCSR活動を支援して来ましたが、幼稚園児が安全に植栽出来る場所がなく現在検討中です。サンサンキッズの学童はE-4区での植栽を予定しています。

〔澄川南小学校〕

一年間を通して澄川都市環境林をベースに子どもたちに環境学習の支援をして行きます。2年は紅桜公園で冬芽観察。3年生のマイツリー選定場所として樹木園の北側を整備して行きます。4年生は環境林の自然散策や化粧炭作り。5年生はネームプレート作りと伐倒見学を予定しています。6年生は卒業記念樹の植栽を計画しています。

1 森林保全・育成活動（多面対策事業を含む）

活動地名	面積 (ha)	実施内容	作業内容	回数	延人数	摘要
都市環境林 有明第二 (札幌市30林班)	14.00	ササ地還林植栽 針広混交林育林	ササ刈り 地掻並びに播種 山引き苗の植栽	11	110	
都市環境林 澄川 (札幌市56林班)	65.14	澄川環境林基本 計画に基づき巨 木の森を目指す	除間伐、ホダ木キ ノコ栽培、ホタル 生息環境保全	82	1,200	活動拠点 基地多面 対策事業
国有林 野幌森林公園 (42林班か小班)	1.10	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 生育調査	1	10	森林監視
国有林支笏湖 復興の森 (5218林班)	1.12	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 生育調査	1	15	育林管理 継続
国有林支笏湖 7-11の森 (5280林班)	1.25	台風被害地復興 針葉樹育林管理	下草刈り 生育調査	1	15	森林監視
国有林支笏湖 CGC水明郷の森 (5456林班)	17.82	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈 育林管理	6	70	生育調査 継続
国有林支笏湖 CGC鳥柵舞の森 (5334林班)	22.72	台風被害地復興 針広混交林植栽、 育林管理	植栽 下草刈り 人力地拵え地区 の整備	11	170	植栽作業 継続
国有林支笏湖 コンサ百年の森 (5460林班)	11.63	台風被害地復興 針広混交林育林 管理	下草刈り 生育調査	4	60	育林管理 継続
国有林支笏湖 ぶんぶんの森 (1355林班)	7.09	台風被害地復興 針葉樹育林管理	下草刈り	2	30	育林管理 継続
その他	エルプラザ、幌南の森、紅桜公園、 杉本宅、開拓の村、			5	40	
計（重複活動：コンサの森、7-11の森）				124	1,720	

3 教育支援・その他

場 所		回数	延参加数	概 要
親子森林教室 “森しり隊”	開校式、澄川環境林	7	120	自然体験学習
幌南小学校自然学習	藻岩山幌南の森	1	10	遊歩道整備、
道民森づくり フェスタ 2018	野幌森林公園 開拓の村	1	10	ワークショップ (9月日実施)
ホームマック幼稚園支援	澄川の活動と重複	1	6	カミネツコン植栽
澄川南小学校	澄川環境林・校内学習 紅桜公園	12	60	マイツリー、ホダ木、木工
計		22	206	

4 内部企画

1. 自主企画		
日程	企画名	人数
5月	理事会・総会(5月10日)	30
8月	納涼会(8月10日)	15
9月	研修旅行(屈足の森&未定)	25
11月	理事会(11月)	11
12月	忘年会(12月4.5日)	20
	幹事会等(毎月+臨時)	140
計		241

2. 冬期セミナー		
日程	企画名	人数
12月	会員例会・セミナー1	20
1月	会員例会・セミナー2	20
2月	会員例会・セミナー3	20
3月	会員例会・セミナー4	20
計	参加機会・4回	80

特定非営利活動法人

北海道森林ボランティア協会理事名簿

(就任期間 2018年4月1日～2020年3月31日)

(順不同・敬称略)

役職名	氏名	住所 又は 居所(身分)	留任	新任
理事長	横山 清	札幌市中央区南13条西12丁目2番15号	○	
専務理事	酒井和彦	札幌市西区西野6条10丁目7番5号	○	
常務理事	高野 豊	札幌市豊平区豊平3条1丁目1番5-902号	○	
常務理事	虎谷利一	札幌市手稲区西宮の沢4条3丁目5-6 ライフコート東館653	○	
理事	山本 諭	札幌市中央区南16条西17丁目1番19号 エクセルシオール南6条1106	○	
理事	我満嘉明	札幌市中央区盤溪229-1		○
理事	西野悌三	札幌市北区あいの里1条7丁目13番2号	○	
理事	荻田雄輔	札幌市中央区北9条西16丁目1302	○	
理事	檀棒典夫	北広島市大曲柏葉2丁目6番12号	○	
理事	大窪健一	札幌市白石区南郷通1丁目南5-1-902		○
理事 (事務長)	市山勝一郎	札幌市豊平区福住2条1丁目5-5-303	○	
理事数 11名				
監事	伊東 孝	札幌市西区八軒7条西1丁目2番12号	○	
監事	須田 守	札幌市西区二四軒26丁目 (株)須田製版	○	
監事	佐野礼子	札幌市中央区南10条西16丁目3-28	○	
監事 3名				
顧問	堀 達也	北海道森と緑の会理事長	○	
顧問	石城謙吉	北海道大学名誉教授、 元北海道大学演習林長	○	
顧問	湊 克之	元北海道大学助教授	○	
顧問	松田 彊	北海道大学名誉教授、 元北海道大学演習林長	○	
顧問数 4名				

退任	柴野直行	札幌市清田区平岡9条3丁目2番13号		
退任	斉藤克彦	札幌市中央区西町1丁目7の1		
退任	和田 功	江別市大麻北町523-37		

特定非営利活動法人 北海道森林ボランティア協会

幹事名簿（2018年度）

（順不同・敬称略）

幹事	氏名	就任期間	留任	新任
代表幹事	酒井和彦	2018年4月1日 ～ 2019年3月31日	○	
副代表幹事	檀棒典夫	同	○	
副代表幹事	清澤通俊	同	○	
幹事	高野 豊	同	○	
幹事	西野悌三	同	○	
幹事	荻田雄輔	同	○	
幹事	佐野礼子	同	○	
幹事 (事務局長)	市山勝一郎	同	○	
幹事	矢澤 滋	同	○	
幹事	釣井市朗	同	○	
幹事	大窪健一	同	○	
幹事	加藤秀雄	同	○	
合計	12名			
退任	和田 功			

第三号議案 「森ボラ協議会」に係る2017年度事業報告

2017年度事業報告

(2017年4月1日～2018年3月31日)

当事業の5年目に当る2017年度は、下記の2地区での活動が対象となりました。2017年度の地区毎の活動内容を報告します。

【澄川都市環境林】機会26回、参加人数420名（以下、機会及び参加人数は第一号議案と重複）

札幌市56林班1～7、9小班面積65.14haでは、「澄川環境林基本計画」と整合を図りながら今までの活動を継続しました。この事業では整理伐及び搬出、チップ作業、地拵え、マキ作り、木道改築、遊歩道・作業道整備、見回り等を行いました。

教育・研修活動タイプでは澄川南小学校、学童保育児童及び幼稚園児を対象として、林内観察、植樹、キノコ植菌、葉っぱの話などの森林教室等を7回行いました。

会員向け研修では5月に刈払機取扱安全講習、12月に安全講習座学、1月に冬季伐木作業のチェーンソー、チルホール操作の安全講習実技を行いました。

今年から交付金の効果を数値で示すために、モニタリング調査が開始されました。当該地区ではB-3区に1カ所、E-4区に2カ所、計3カ所に10m×10mの調査区を設定して整備前、整備後の毎木調査を行い、樹間の混み具合を表す相対幹距比を算出しました。樹木が生育していないギャップ地では、植樹を行い高木になる樹木の成立本数、樹高を計測しました。この調査は今後も継続して行います。

【有明第二都市環境林】機会11回、参加人数118名

札幌市30林班9～10、12～16、22～23小班面積14.0haでは、ギャップ地の育林活動、作業道整備を行いました。今年から整備を始めた南東高台部では笹刈り、傾斜木・枯損木整理を行いました。林床まで日が当たるようになり、稚樹の発生が期待されます。動物による食害が目立つギャップ地において針葉樹47本、広葉樹60本の補植を行いました。また、試験的に10m×10mのモニタリング区においてシカ食害対策用の網を設置しましたので、効果を確認しながら改良し範囲を拡大する計画です。

避難小屋前の標準地における生長調査では2016年には16種432本、2017年には10種257本を確認しました。今後も継続して植生の推移を見守ります。

当該地区のモニタリング調査は、南東高台部とギャップ地の2カ所で行いました。南東高台部では樹木の込み具合を表す相対幹距比を計測し、ギャップ地では苗の本数、樹高を測りました。今後も継続して観測します。

「森ボラ協議会」に係る 2018 年度事業計画

2018 年度事業計画

(2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)

当事業の 6 年目に当る 2018 年度は、下記の 2 地区で今までの活動内容を継続します。

【澄川都市環境林】

札幌市 56 林班 1～7、9 小班面積 65.14 ha では、新たに制定された「2018 澄川環境林基本計画」と整合を計りながら今までの活動を継続して行きます。この事業では整理伐及び搬出、遊歩道・作業道整備、木道整備、マキ作り、地拵え、植樹、見回り、生長調査等を行います。

標準地・標準木調査では樹種同定、胸高周長・樹高測定を継続します。新たな標準地を E-6, 7 区に設置します。また、モニタリング調査は整理伐を予定している E-5 区に新たに設置し、既存の箇所と合わせて観測を継続します。

教育・研修活動タイプでは澄川南小学校生徒等を対象とした森林教室を 6 回組み入れます。

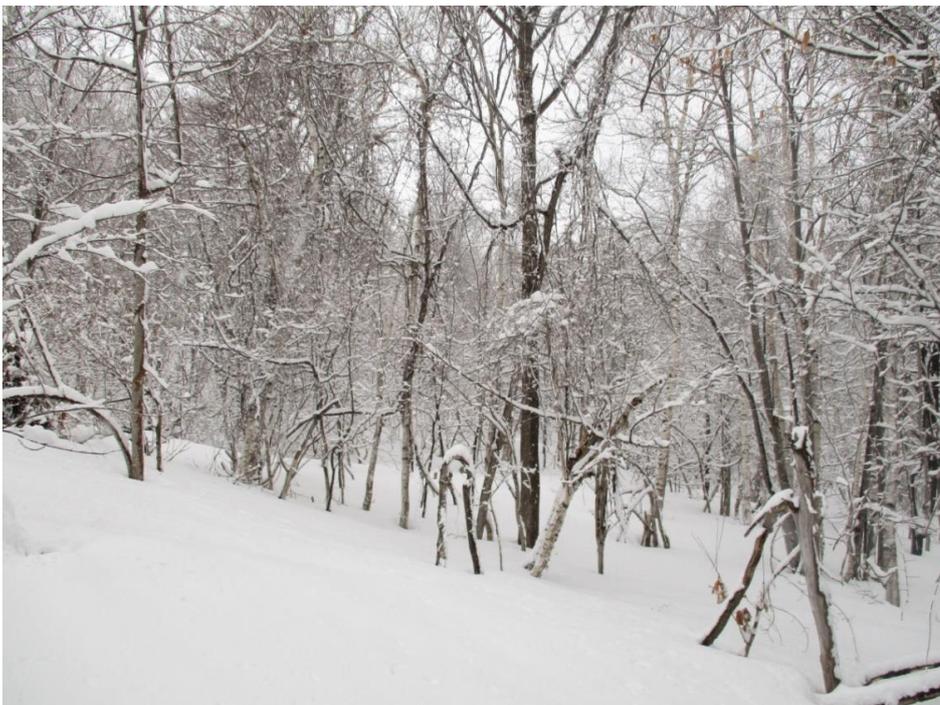
【有明第二都市環境林】

札幌市 30 林班 9～10、12～16、22～23 小班面積 14.0 ha では、今までのギャップ地のササ刈り、地拵え、植栽、歩道・作業道整備、風倒木・枯損木の整理、下草刈り、見回り等を継続して行います。

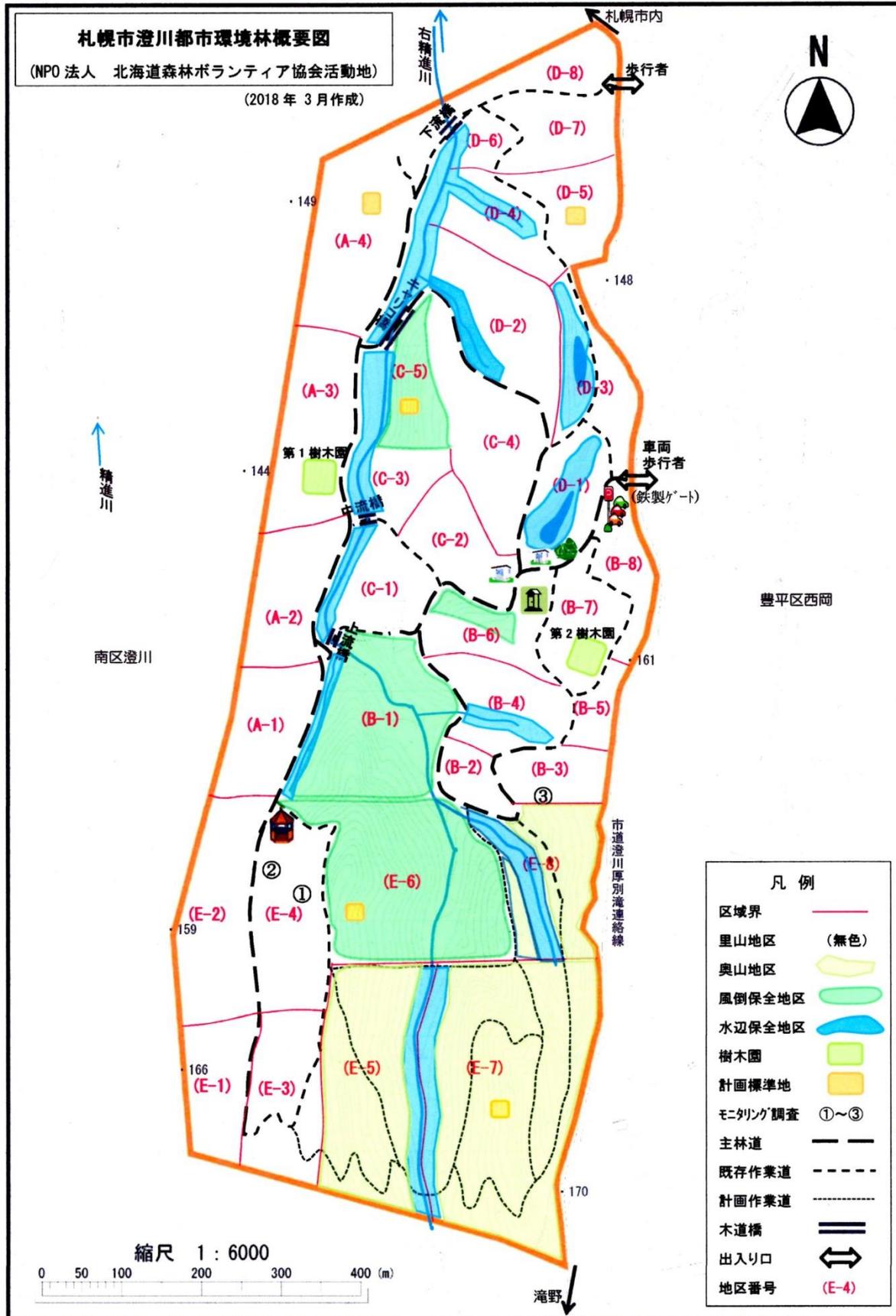
南東側の台地部は昨年実施した笹刈り、整理伐の状況及び稚樹の発生状況を観察しながら針広混交林を目指していきます。今年度から新たに北東側台地部の状況を調査し、笹刈りに着手します。

また、昨年度試験的に設置したシカ食害対策網の状況を見て改良を加え増設します。

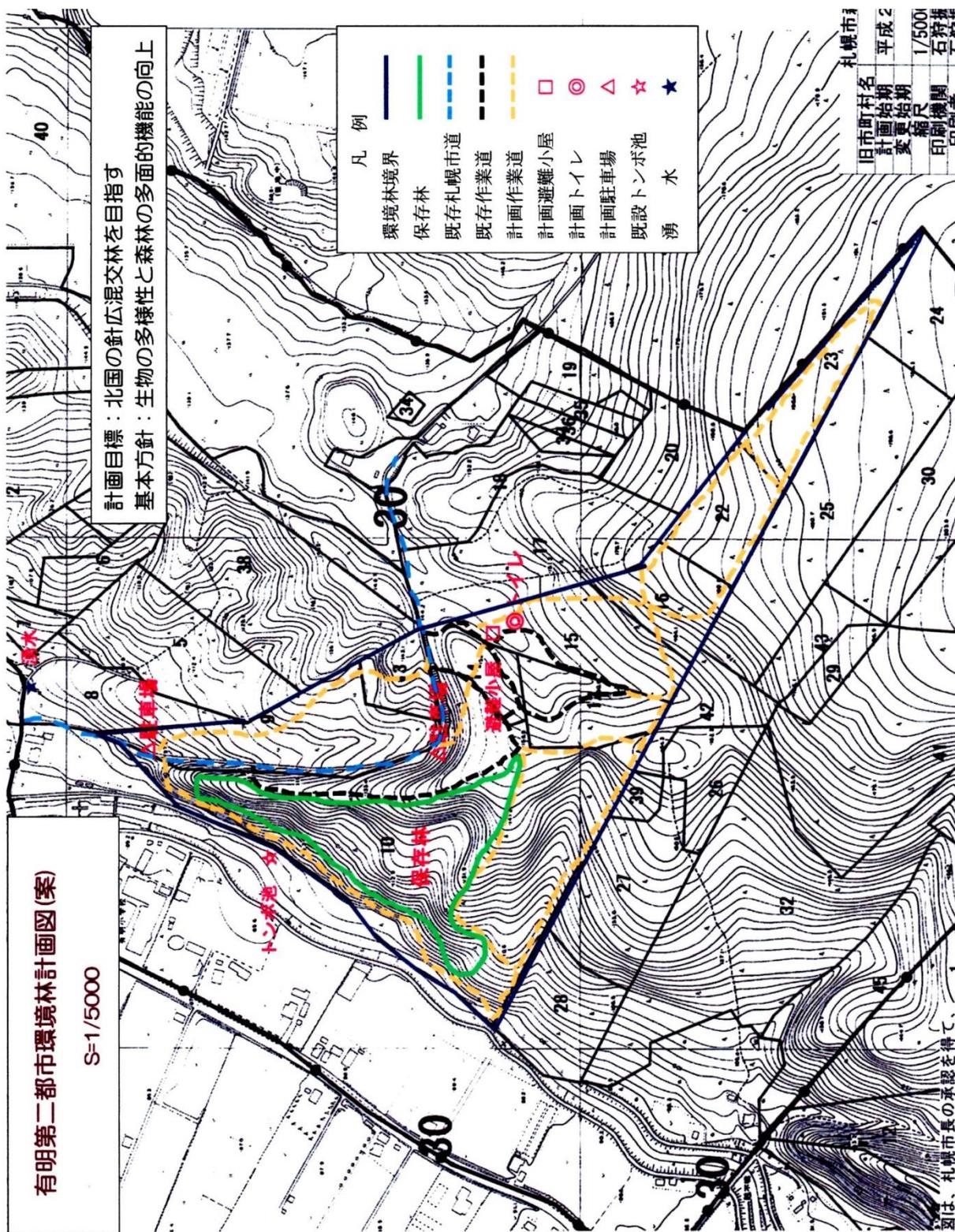
モニタリング調査、避難小屋前の生長調査を継続します。



澄川 E-5 区の状況(2018 年 3 月)



澄川都市環境林概要図



有明第二都市環境林計画図